

なぎさ若竹こども園



横浜若竹こども園



元気いっぱい 坂っ子運動会

坂みみょう保育園



小屋浦小学校・小屋浦みみょう保育園



②・③ 定例会・臨時会

④ 議案採決結果

⑤ 議長交際費・議員政務活動費

⑥～⑫ 一般質問(10議員から14問)

⑬ 議会の動き

⑭・⑮ 身近な議会の集い

⑯ **追跡** ありゃあ、どおなったん?

⑰ まちの声

⑱ 議会クイズ

坂町公式ライン
QRコード



令和6年度 一般会計補正予算

物価高騰支援給付金など

1億2328万円を追加補正で予算総額74億2180万円に

主な収入

【単位は万円】

物価高騰対応支援臨時交付金 …	4306
通学路緊急対策推進国庫補助金 …	2200
急傾斜地崩壊対策県補助金 ……	800
財政調整基金繰入金 ……………	3279
急傾斜地崩壊対策事業(町債) …	800
小中学校施設長寿命化事業(町債) …	660

主な使い道

【単位は万円】

物価高騰対応重点支援給付金 …	4567
町道坂東環状線推進事業 ……	4000
急傾斜地崩壊対策事業 ……	1600
坂小学校校舎屋上防水工事等 …	779
学校給食費支援事業 ……	373
保育園等給食費支援事業 ……	127
会計年度任用職員社会福祉士 …	258

第4回定例会は6月5日・7日に開会され、報告4件、一般会計補正予算、国民健康保険事業特別会計補正予算、坂中学校エレベーター設置工事請負契約の締結、(仮称)町道植田水尻側道線設置工事契約の締結、坂町防災行政無線の設置及び管理条例など3条例の一部改正を原案どおり可決した。議会発議として特別委員会の設置を原案どおり可決した。
一般質問は10人から14問を行い、町当局の考えを問うた。

補正予算の審議

▼物価高騰支援給付金は

議員
物価高騰支援給付金の開始と給付額と対象は。

民生課長

今年度新たに住民税非課税となる世帯には一世帯当たり10万円で、200世帯、こども加算として、支給対象世帯内の18歳以下には一人当たり5万円を25人分、7月上旬に給付を予定している。ただし、令和5年度に支給を受けた者は対象外である。
また、調整給付金として、定額減税額が課税額よりも多い納税者は、定額減税額から課税額を引いた額を給付する。

▼急傾斜地崩壊対策は

議員
急傾斜地崩壊対策事業の場所はどこか。

基盤整備担当課長

水尻地区の急傾斜地である。

▼社会福祉士は

議員
会計年度任用職員の社会福祉士は。

民生部長

保健・福祉総合相談室の職員として採用予定で、現在募集中であるが、まだ決まっていない。

▼保育園等給食費支援は

議員
保育園等給食費支援事業は国・県からの補助金があるのか。

民生課長

保育園・こども園の給食材料費の一部を町が補助する。補助金はなく一般財源である。
期間は令和6年8月から令和7年3月までである。



水尻地区急傾斜



保健・福祉総合相談室

拠点避難場所の坂中学校にエレベーター設置 植田水尻側道線の令和6年度工事契約

工事請負契約

▼坂中学校エレベーター

警戒レベル3（高齢者等避難）で開設の拠点避難場所坂中学校の多目的室（3階）に円滑に避難できるよう、エレベーター（15人乗り）を新設する工事請負契約の締結を可決した。

◎契約額：7920万円
◎契約先：（株）鴻治組
◎工期：令和7年3月31日

▼（仮称）町道植田水尻側道線令和6年度契約

町道植田水尻側道線は、水尻地区の住民やベイスайдビーチ坂の利用者等が、津波災害や土砂災害時の円滑な避難、支援・復旧活動等を速やかに行うため、広島県道路の4車線化事業に併せて整備を行うもの。



町道植田水尻側道線

令和6年度契約の締結を可決した。

◎契約額：9658万3777円（全体協定金額9億9787万1000円）
◎契約先：西日本高速道路（株）中国支社
◎工期：令和7年3月31日

5月2日第3回臨時会

▼坂中学校エレベーター設置で補正予算

拠点避難場所である坂中学校に3階まで15人乗りエレベーターを設置するための補正予算1億1015万円を可決した。財源は町債（教育債）1億1000万円、財政調整基金15万円である。

坂町土地開発公社の経営状況

経営状況は健全である。

坂町土地開発公社経営状況

令和5年度事業報告

- (1) 用地取得事業 なし
- (2) 用地売却事業 22,144,344円
（坂西一丁目代替地売却事業）

令和5年度経営状況

- (1) 事業等収益 22,144,344円
- (2) 事業原価 22,144,344円
- (3) 事業経費等 209,053円
- (4) 当年度純利益 △209,053円

令和6年度事業計画

- (1) 用地取得事業 5,376,000円
（坂西二丁目代替地取得事業）
- (2) 用地売却事業 5,880,000円
（坂西一丁目代替地売却事業）



エレベーター設置場所

各議案に対する採決状況（各議員の賛否一覧）

令和6年 坂町議会 定例会・臨時会

★川本議長は採決に加わらない

提出議案と主な内容	議員名	折中	岡村	縫部	池脇	向田	末吉	安竹	光岡	中川ゆかり	柚木	奥村富士雄	採決
		智	繁範	逸都	雅彦	清一	克巳	正	美里	喬			
令和6年 第3回坂町議会 臨時会（令和6年5月2日）													
議案第28号	坂町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認 地方税法等の一部改正に伴い改正するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第29号	令和6年度坂町一般会計補正予算（第1号） 1億1015万2千円を追加し総額72億9851万8千円に	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和6年 第4回坂町議会 定例会（令和6年6月5日・6月7日）													
報告第2号	令和5年度坂町一般会計繰越明許費繰越計算書 三世代同居等推奨事業など19件	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告第3号	令和5年度坂町一般会計事故繰越し繰越計算書 都市防災総合推進事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告第4号	令和5年度坂町下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書 安芸衛生センターし尿前処理施設整備事業ほか2件	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告第5号	令和5年度坂町土地開発公社の経営状況及び令和6年度事業計画の報告について 令和5年度の経営状況・令和6年度の事業計画等の報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
議案第30号	令和6年度坂町一般会計補正予算（第2号） 1億2327万8千円を追加し、74億2179万6千円に	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第31号	令和6年度坂町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号） 301万1千円を追加し、12億6172万2千円に	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第32号	坂中学校エレベーター設置工事請負契約の締結 7920万円で（株）鴻治組と契約 指名競争入札	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第33号	（仮称）町道植田水尻側道線の設置に伴う工事等に関する令和6年度契約の締結 9658万3777円で西日本高速道路（株）中国支社と随意契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第34号	坂町防災行政無線の設置及び管理に関する条例の一部改正 設置場所の住所の整理及び防災行政無線を移設したため	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第35号	坂町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第36号	坂町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第1号	総合計画調査特別委員会の設置 社会、経済情勢等により新たに生じる行政課題に対応するため	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決



議会中継より

議会基本条例により公表します(議長の交際費・議員の政務活動費)

令和5年度議長交際費使途の報告

区 分	件数	累計額 (円)	概 要
祝 儀	9	74,740	祝賀会など祝い金
会 費	6	57,500	総会、意見交換会、懇親会など会費
慶 弔	3	30,000	香典、生花、志など
見 舞	0	0	病院、災害及び事故など見舞金
接 待	1	7,517	視察先への儀礼的な経費、外部の個人・団体との交渉・接遇に要する経費
記 念 品	1	10,000	表敬、表彰にかかる記念品、花束
交 通 費	6	30,940	会議、式典などの出席にかかる交通費
雑 費	1	1,638	その他（名刺・はがきなど）
合 計	27	212,335	当初予算600,000円

令和5年度政務活動費収支報告

議席番号	議員名	交付額	支出内訳								合計	返納額
			調査研究費	研修費	広聴費・広報費	要望陳情等活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	事務費		
1	折中 智	110,000	20,466								20,466	89,534
2	岡村 繁範	110,000						1,000	50,148	80,109	131,257	0
3	縫部 逸都	110,000	20,466	30,000					6,648	42,612	99,726	10,274
4	池脇 雅彦	110,000		84,273					76,174	10,242	170,689	0
5	向田 清一	120,000			1,100			1,000	18,130	114,561	134,791	0
6	末吉 克巳	110,000						1,000	9,435	94,400	104,835	5,165
7	安竹 正	120,000			29,802			1,000	9,435		40,237	79,763
8	光岡 美里	120,000	68,446	74,911						10,478	153,835	0
9	中川ゆかり	120,000	20,466	100,960				1,000		5,445	127,871	0
10	柚木 喬	120,000						1,000	40,639	24,252	65,891	54,109
11	奥村富士雄	120,000			67,760					75,350	143,110	0
12	川本 英輔	120,000	20,469					1,000		50,246	71,715	48,285
合 計		1,390,000	150,313	290,144	98,662	0	0	7,000	210,609	507,695	1,264,423	287,130

6月定例会 一般質問

10人から14問 行政に問う



議員
小中学校における具体的な取組は。

教育長
「金融教育」は、お金や金融のはたらきを理解し、より豊かな生活やよりよい社会づくりに向けて、主体的に行動できる態度を養う教育である。

現代社会では、「お金」は切っても切れない関係にあり、金融教育が注目されているが、「金融教育」とは。



池脇 雅彦 議員

金融教育

町 金融教育の小中学校や大人への取組は
学校教育はもちろん大人の学習機会の必要性も高まっている

教育長

小学校では主に5・6年の家庭科「物やお金の使い方」の単元で、中学校では2学年の家庭科において、消費生活と契約について学習する。

議員

大人に対する取組は。

教育長

これまでの開催例としては、金融関係者を講師として招き、資産形成、相続を学ぶ「基礎から学ぶマネー講座」を実施した。

教育長

議員
金融リテラシーおよび金融教育の重要性とは。

金融教育の役割は、学校教育はもちろん、大人の学習機会の必要性も高まっている。
特に成人年齢の18歳引き下げに伴い、保護者の同意もなくローンが組めるなど、借りたお金は返済するという自立した消費者としての能力が求められている。



金融教育を学ぼう

地域共生社会

町 地域共生社会への理解の浸透を図る 合理的配慮の提供の義務化への対応は



中川 ゆかり 議員

「合理的配慮の提供の義務化」への行政としての関わりや対応は。

このため、広報さか、ホームページ、国が作成したリーフレットなどで民間事業者に周知を行うとともに、障害のある人から寄せられた意見や相談事例などを具体的に紹介し、「合理的配慮」については地域共生社会への理解の浸透を図る。

議員
障害者親の会などの意見も重要では。

民生課長

保健・福祉総合相談室を始め役場の窓口には、日々、多くのご意見をいただいている。

議員

町内各団体の会合などでプリント配布・告知など実践につながるような丁寧な周知をしては。

民生課長

広報さか・ホームページはもとより、各団体には、啓発チラシを作成し、会合の時に告知してもらうことを検討する。



ありがとう

支援給付

町 国の給付金制度を通じて適切に措置されている 子育て世帯・社会的弱者に対する支援は



柚木 喬 議員

保育料の完全無償化は。

も国の動向を注視し、どうあるべきかを考えていく。

議員

水道料金の減免について、「住民税非課税世帯や均等割のみの世帯へ10万円等の給付があるので減免は実施しない」と3月定例会で答弁があった。このことが、社会的弱者に届いているか。

町長

物価高騰対策としての生活支援は、国のセーフ

ティーネットとして令和5年度の物価高騰対応重点支援給付金が住民税均等割のみの世帯に該当した世帯にも10万円、子ども一人5万円の給付を行うので、水道料金も含めて、光熱費、食糧費など生活全般に係る家計の支援は、国の給付金制度を通して適切に措置されていると考える。

町長
本町の子育て支援策は、こども医療費助成制度を拡大・充実し、保育園・こども園・小中学校の令和6年4月から7月までの給食費を無償化し、物価高騰による給食費値上げ相当分の助成を今年度実施している。

また、小中学校の教育環境の整備を積極的に行うなど、優先順位をつけながら総合的に実施している。

保育料の無償化は、国の制度により、実施しているところであり、今後



給付金制度でハッピー家族

健康ウォーキング

「みんなでウォーキング」事業に多くの参加で健康づくりを

町 若年層も含め参加者を増やす工夫を検討



奥村 富士雄 議員

5月からスタートした「みんなでウォーキング」事業は、来年2月まで日々の歩数を記録し、毎月保険健康課に報告することで、習慣化、健康づくりにつながるが、より多くの参加を。

議員

65歳以上の方に万歩計を配布しウォーキングの推進をしているが、配布後の利用調査や効果測定はしているのか。

町長

介護保険事業計画などのニーズ調査では、65歳以上の4割以上が万歩計を使用し、その8割以上が健康状態が「よい」と回答し、ウォーキング習慣と健康づくりに繋がっている。

議員

来年は町制施行75周年で、ひろしまフラワーフェスティバルにひき船や坂町音頭が出演すると聞いているが、豪雨災害後初めてで、元氣な坂町を発信するために、ウォーキングも出場しては。

町長

正式には決まっていない。予算化に向けて検討していくが、ウォーキングでの個人参加は難しいのでは。



健康のためにウォーキングを習慣に

生涯スポーツ

生涯スポーツ社会の推進で定住促進の強化を

町 既存事業をより充実させ楽しんでもらえるよう努める



岡村 繁範 議員

青少年スポーツ振興には助成金や施設利用など、他市町にはない手厚い補助がある。さらなるスポーツ振興の一環で町内各地域へスポーツウォール(壁)を設置しては。

議員

子どもの能動的な遊びを促し、創造性や自発性などを育める屋内型の遊び場施設の整備運営を。

教育長

既存の屋外施設では、熱中症のリスクが高まる中、全国的に屋内型の遊び場への注目は高まっている。現段階での構想は困難であるが、情報は収集していきたい。

議員

定住促進においては、他の地域から転入者を確保していく必要があるため「選ばれる坂町」としてあらゆる施策のかじ取りを、積極的に行っては。

町長

復興と小屋浦地区の人口減少の問題は、可能な限りできることを地に足の着いたやり方で進めていく。難しい問題もあるが、議会や住民の皆様と協働しながら取り組んでいきたい。

教育長

スポーツの推進は、体育協会をはじめスポーツ推進委員会が中心となり普及活動に取り組んでいる。スポーツウォールの設置について各地域において設置する場所が見当たらず、特定の球技の利用しかできないことから設置は困難である。

スポーツウォールの設置を



雨の日も町内で室内遊びを



健康遊具設置

高齢者体力維持・強化のための健康遊具の設置を

町 「公園遊具等長寿命化計画」において各種遊具を反映



向田 清一 議員

本町の公園の数、健康遊具が設置されている箇所数、トイレのついている公園数と洋式の数。

町長

都市公園と児童遊園地をあわせて35カ所開設し健康遊具を設置してある公園は3公園（きりり・さかなぎ公園、鯛尾公園、小屋浦公園）に8基設置している。
トイレの設置状況は21公園で、そのうち9公園については洋式トイレ17基を設置している。

議員

健康遊具を設置することで公園の賑わい、健康増進などに寄与すると思うが。

町長

高齢者の方々が健康的な体を維持するために、適度な運動、体操をすることは体力の維持や健康寿命の増進、また、日常生活を生き生きと送れることにも繋がると考えている。

健康遊具は簡単にストレッチや、筋力トレーニングなどの運動ができる遊具で高齢者には運動不足の解消に役立つ効果があると考えている。



鯛尾公園の健康遊具

議員

健康遊具は健康寿命を延ばす点からも必須のアイテムと思うが今後の計画は。

町長

健康遊具は、子どもから見れば一般の遊具と区別しにくく、事故に繋がった事例や高齢で体力の弱い方に応じて使い分けられる遊具の選定、配置が必要である。

今後の計画は、今年度作成する「公園遊具等長寿命化計画」において各種遊具の整備計画に反映する。

ブロック塀耐震化

ブロック塀耐震化改良工事費用の補助を

町 耐震化補助制度は早急に進める



安竹 正 議員

ブロック塀の耐震化改修工事費用に補助金を出しては。

町長

近年、大きな地震が発生している状況であり、当町では、住宅の耐震性を向上させる工事費の一部を補助する制度を設けている。

ブロック塀の安全対策は、平成30年大阪北部地震を教訓に町の公共施設については安全点検と改修を行い、安全を確保している。

民間設置のブロック塀についても住民の安全を確保する上で対策は必要



耐震化が望まれるブロック塀

議員

制度の開始時期の見通しは。

町長

平成30年には、国の制度があると把握していたが、西日本豪雨災害の復旧作業を最優先に行っていたこともあり、この制度と交錯すると懸念し制度が遅れた。
今年度中に国へ補助要望し、来年度当初より適用できるようにする。

保健センター

保健センターの早急な大規模改修を

町 保健センターの機能を備えた新たな施設を検討



光岡 美里 議員

保健センターは築40年が経過し、老朽化が進んでいる。
早急に大規模改修が必要では。

町長

修理が必要な箇所が増えてきていることから保健センターの機能を備えた新たな施設を検討している。
この施設ではすべての世代の方が使いやすく、気軽に集うことができ、コミュニティの場として活用できるような施設としたいと考えている。

議員

いつ頃までに着手するのか。

町長

建設資材の高騰などの社会情勢も判断しながら、町内の各種団体の意見も聞き、いつの時期が良いかを判断していきたい。

議員

建て替え予定の場所は。

民生部長

現在の場所での建て替えを考えている。



経年劣化の進む保健センター

議員

社会福祉協議会の施設は耐震状況が心配されるため、複合的な総合保健福祉センターとして新たな施設に集約しては。

町長

社会福祉協議会の意見も聞きながら、総合的に判断していきたい。

道路改良

横浜東・坂西二丁目の地下道付近の町道拡幅を

町 効果的な路面標示で対応



折中 智 議員

坂西二丁目側の地下道の管に蓋をし道路拡幅し植田方面との交通交錯解消を。

町長

蓋は物理的にできない。効果的な路面標示をすることで対応する。



坂西一丁目地下道付近

議員

横浜東一丁目側の地下道横の水路に蓋をし、道路拡張して一方通行を解除できないか。

町長

普通車の離合は現状可能で蓋をして拡幅の必要性はない。
国道側の交通量の多さから、町道から国道へ出る場合に危険性があり、一方通行を設定している。

議員

国道側の交通量が全ての時間帯に多いわけではない。
横浜若竹こども園の交通の混雑もあり、一方通行の時間帯を、朝夕のみに短縮しては。

建設課長

警察署との協議で一方通行としているが、規制の変更手続きは地区住民の総意が必要と伺っている。



横浜東一丁目地下道横の一方通行路

町長
令和4年度にロジコムグラウンド、アサガミベイサイドパークと同様に広報さかやホームページを通じて募集するとともに、職員が直接、町内の事業所を訪問し、命名権取得の依頼を行ったが、横浜公園のみ応募がなかった。
現在は、随時募集に切り替えて募集しており、今後、改めて広報さかに掲載し町内外の企業に働きかけていく。

横浜公園の命名権を募集しているが状況は。



末吉 克巳 議員

横浜公園

横浜公園の現状は

町 計画的にベンチの更新を進める

議員

自由広場と道路との間の側溝にグレーチングで蓋をしては。

町長

横浜公園は、津波避難場所にも指定されている。グレーチングを使用し、自由広場と道路との間の側溝に蓋をするよう担当課長に指示している。

議員

ベンチの老朽化が進みかなり痛んでいるのでリニューアルしては。

町長

設置から40年以上経過しており、老朽化が進んでいる。「公園遊具等長寿命化計画」にベンチの更新を盛り込み計画的にベンチの更新を進めていくことを考えている。



老朽化したベンチの更新を

空き家対策

最新の空き家対策は

町 国の制度など注視しながら推進する

議員

管理不全空き家の実態と「活用促進区域」制度の動向は。

町長

本町では、空き家が判明した時点で所有者などへの注意喚起を行っており、現在のところ管理不全空き家とした家屋はなく、「活用促進区域」についても施行されて半年で全国的にも事例が少ないため、今後の動向を注視していく。

議員

道路拡幅による空き家解消が根本手段であるが、拡幅対応と成果は。

町長

現在、道路の拡幅については、避難路として整備する道路のほか、建築物の建替えに伴う拡幅を主に推進している。空き家の問題は、少子高齢化・人口減少対策などの問題と関係する地域課題のため、「空き家活用支援窓口」で対応している。

町長
空き家状況件数は、平成27年では369件の空き家があったが、令和2年では210件が解消されたものの、新たに293件の空き家が発生している。

町内の最新の空き家状況は。

柚木 喬 議員



空き家対策を

災害対策

災害対策のための備品配備や設置活用を

町 避難訓練時に使用方法を確認

赤白帽を常に机の横にかけ、地震の際にかぶる指導をしている。
現時点では、防災頭巾の配備は検討していない。

町長

かまどベンチ、マンホールトイレを常設で利用して頂くことは、管理面などにおいて難しいと考えている。

議員
かまどベンチ、マンホールトイレが整備されているが、日頃から町民が使用できるようにしては。

各地区で実施する避難訓練の機会を活用して、使用方法などについて確認することが効果的と考えている。
消防団・防災士・地域防災リーダーと連携して取り組んでいく。

学校の耐震化は完了しているが、天井や照明などが落下する恐れがある。
防災頭巾を小中学校に配備しては。

町長

現在、小中学校では、地震に係る避難訓練として、津波を想定した高台へ逃げることや、地震発生時には、姿勢を低くし机の下にかくれるなど、身を守るための安全行動の訓練を行っている。



かまどベンチが使えるように

学校給食

学校における食育および給食は

町 給食費支援事業の継続は物価の動向等状況に応じて検討する

議員
給食時間は適切であるか。

教育長

配膳を含めて小学校が40分間、中学校が30分間である。
給食準備を素早く行い、喫食時間を確保できるように指導しており、適切であると考えている。

「令和6年度教育行政方針」において、なぜ食育・学校給食についてふれていないのか。

教育長

現在は、栄養教諭を中心として健全な食生活や地産地消を活用した指導などが充実してきたため、取り上げていない。
しかし、食育は、児童生徒が心身ともに健やかで安全に成長していくために必要であると考えている。

議員
「学校給食費支援事業」の事業継続の今後の見通しは。

教育長

次年度以降は、国の補助金制度および物価の動向などを注視しつつ状況に応じて検討する。



いつも給食おいしいな

議員
町立図書館との連携・協働にかかる現状と課題は。

教育長

町立図書館司書、各校の司書担当教諭の業務量が増えており、業務改善に取り組みながら、引き続き、質の高い図書環境整備および読書活動推進を図る。

その他「学校におけるこどもの読書活動について」も質問した。

議会の動き

全 員 協 議 会

- ＜4月3日＞・小屋浦地区活性化に向けたアンケート調査・ヒアリング結果の件
・地域おこし協力隊の件
- ＜5月2日＞・坂中学校エレベーター新設工事の補正予算の件
・令和6年第3回坂町議会臨時会の件
・令和6年第4回坂町議会定例会の件
・ベイサイドビーチ坂飲食施設の事業者の件
・坂うめじろう饅頭の販売の件
- ＜5月24日＞・県道坂小屋浦線（都市計画道路坂中央線）の進捗状況及び実施計画の件
- ＜5月31日＞・平成30年7月豪雨災害犠牲者追悼献花の件
・物価高騰に伴う食材購入費の支援延長の件
・令和6年度物価高騰対応重点支援給付金の補正予算措置の件
・町道植田水尻側道線に係る工事等の契約の件
・令和6年度6月補正予算の件
・令和6年第4回坂町議会定例会の件



改修予定の坂中学校体育館視察



全員協議会

議会運営委員会

- ＜5月2日＞
・令和6年第3回坂町議会臨時会の件
・令和6年第4回坂町議会定例会の件
- ＜5月31日＞
・令和6年第4回坂町議会定例会の件

建設文教委員会

- ＜4月19日＞
・年間活動計画の件
- ＜5月31日＞
・学校教育課から学校施設改修前の現状を、担当者出席のもと現地調査
- ＜6月14日＞
・担当課の所管事務調査

議会改革推進特別委員会

- ＜4月19日＞・議会報告会について
・団体との意見交換会の件
・町内にある大学、高校との交流の件
- ＜5月10日＞・「身近な議会の集い」準備作業・資料作成等の件
- ＜5月24日＞・「身近な議会の集い」各地区運営最終確認
- ＜5月30日＞・「身近な議会の集い」を4地区で開催
- ＜6月7日＞・「身近な議会の集い」のまとめ

総務厚生委員会

- ＜4月19日＞・年間活動計画の件
- ＜6月18日＞・担当課の所管事務調査

いただいた貴重なご意見は今後の議会活動に活かします

各地区への報告と意見交換会

坂地区

サンスターホール

参加者数	15人	
担当議員	光岡 縫部 岡村	議員 議員 議員

報告内容

- ① スライド視聴
- ② 主要事業説明
 - ・ 県道坂小屋浦線の事業経緯と進捗状況
 - ・ 坂東環状線の進捗状況
 - ・ 坂地区の道路改良工事
 - ・ 保健・福祉総合相談窓口の新設

質疑応答

- Q 循環バス経路で坂駅南口に回って欲しい。
- A 県道及び町道の進捗状況等に合わせて将来的に考えていく必要があると思う。
- Q 県道2工区の上側は調整区域で家が建たない、解除してほしい。
- A 県道が出来たときに都市計画区域について検討されるのではないかと。
- Q 人口に対する議員数の定めはあるのか。
- A 法律で最大人数の定めはあるが、人口比率の定めはない。

意見箱

- ・ 有害鳥獣対策のサル用の檻を各地区にも設置してほしい。
- ・ 国道31号の4車線化を急いで渋滞をなんとかしてほしい。
- ・ 本会へもっと参加者が増えるような対策をとる必要があるのでは。説明は良かった。いろいろな質問にしっかり対応してくれた。



平成ヶ浜地区

町民センター

参加者数	11人	
担当議員	奥村 向田 池脇	議員 議員 議員

報告内容

- ① スライド視聴
- ② 主要事業説明
 - ・ 循環バスの土曜日運行
 - ・ 保健・福祉総合相談窓口新設
 - ・ 県道・坂小屋浦線・町道坂東環状線の推進
 - ・ ベイサイドビーチ坂の賑わい創出など

質疑応答

- Q 県道坂小屋浦線整備事業に伴う役場側の道路の交通渋滞対策は。
- A まだ町側から詳しい説明がないが、今後、議会でも検討していく。
- Q 町政懇談会においてバス運行は毎年赤字になると説明があつたが赤字でも運行すべきでは。
- A 町は、バスに乗る人も乗らない人も等しく移動手段の確保を考えながら、今後も運行していくものと考えている。

意見箱

- ・ 坂町の良い点、悪い点が分かり参考になった。
- ・ 議員の活動が分かった。
- ・ 質問について力を入れて答えてもらい一生懸命さに感激した。
- ・ 高尾橋からフジに向けての歩道が危ないと思う。
- ・ 町民のために頑張ってください。



令和6年度 議会報告会 5月30日 4地区同時開催

《身近な議会の集い》

横浜地区

横浜三部集会所

参加者数	20人	議員
担当議員	柚木 中川 折中	議員 議員

報告内容

- ① スライド視聴
② 主要事業説明
- ・横浜15号・17号線 整備事業
 - ・横浜三部2・5・6・7・8号道路改良
 - ・植田三丁目急傾斜崩壊対策事業
 - ・植田水尻側道線
 - ・水尻地区急傾斜崩壊対策事業
 - ・横浜排水区雨水排水路改良工事

質疑応答

- Q. 植田地区循環バス利用のしやすいルートの変更を。(植田環状線)
- A. 課題の多い事業ですので、議会で協議したいと思います。
- Q. 議員の定年制とかあるのですか。
- A. これまで協議をしたことはありませんが、多様性の中で坂町議会を成り立たせれば良いのでは。



意見箱

- Q. 「身近な議会の集い」開催前に配置議員を知らせるべき。
- A. 検討課題とします。
- ・横浜地区、住みやすいと感じています。課題山積ですが、お願いします。
- ・皆さんの意見が出て、とても良かったと思います。これからも、私にできる楽しい地域にしたいと思います。

小屋浦地区

小屋浦ふれあいセンター

参加者数	37人	議員
担当議員	川本 安竹 末吉	議員 議員

報告内容

- ① スライド視聴
② 主要事業説明
- ・小屋浦地区活性化基本構想等策定事業
 - ・急傾斜地整備事業
 - ・町道整備事業
 - ・小屋浦小学校グラウンドフェンス改修
 - ・向田雨水ポンプ場改修工事
 - ・小屋浦ふれあいセンター空調設備工事
 - ・天地川堆積土砂撤去工事

質疑応答

- Q. 子育て支援住宅の契約では18歳になると退居しなくてはならないが、町有住宅の有効活用としては。
- ・小屋浦地区の活性化は町有住宅だけでなく国道を挟んでの協議をお願いする。
- A. 議会としても、今後協議していく。



意見箱

- Q. 住民総合健診は小屋浦地区では実施しないのか。
- A. 秋期から小屋浦での健診がなくなるが、町民センターまで送迎バスで対応する。
- ・河川の草刈りは行政で行えないか。
- ・小屋浦地区の活性化は重要アイテムと思うが、ただ少子高齢化は現実と受け止め、身の丈に合った対策を優先すべきでは。

追跡

ありゃあ、どおなったん？

令和3年12月定例会から

議員

子どもの医療費助成を
高校3年生までにしては。

町長

全国画一的な社会保障
制度・少子化対策として
国が責任をもって実施す
るものであり、地方自治
体間で拡充・拡大競争を
行うものではないと考え
る。

継続

物価高騰など社会情勢
を踏まえて子育て世帯の
更なる経済的負担の軽減
を図るため、令和6年4
月1日より、所得制限を
撤廃し、対象を中学3年
生までを高校3年生まで
とし、坂町こども医療費
助成制度の拡大・充実を
図った。

【民生課】

議員

県道の総頭川渡河部に
ついて何のために1号線
をまたいで延伸したのか。

町長

坂みみょう保育園付近
から荒神橋までの離合困
難箇所の解消や循環バス
の上條地区までの延伸な
どを目的として延伸し
た。

しかし現状は、渡河部
分の用地取得が完了して
いない状況である。

継続

総頭川渡河部付近は広
島県が令和4年度に取得
し、令和5年度から渡河
部の工事に着手してい
る。

河川内工事のため、渇
水期のみ施工となり、3
箇年で整備予定である。

【建設課】



工事が進む県道の総頭川をまたぐ橋

議員

シルバー人材センタ
ーを設立しては。

町長

本町には、坂町社会福
祉協議会が運営する「有
償ボランティア事業」が
あり、60歳以上が約60人
登録されており、この事
業の活用を進める。

継続

第10期高齢者保健福祉
計画・第9期介護保険事
業計画においても「有償
ボランティア事業」の利
用促進を目標と定めてお
り、高齢者がこれまでに
得た技能や経験を活かし
たボランティア活動や就
労的活動の場の提供を、
引き続き関係機関と連携
しながら、推進してい
く。

【保険健康課】



まちの声

が聞こえる

このコーナーは、議会クイズのはがきの意見・要望などの一部を掲載しています。

循環バス土曜運行

4月から土曜日循環バス運行ありがとうございます。循環バスがなくなると困ります。

いつも循環バスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

皆様のおかげで、昨年、一昨年より、循環バス利用者が増えている状況です。

今年度におきましては、8月ごろに、植田地区内に「ほほえみタウン坂前」バス停を新たに設置予定です。

また、平成ヶ浜二丁目バス停に上屋を設置します。

これからも、皆様のご意見を伺いながら利便性の向上に努めてまいりますので、引き続き、通院・通学や、お買い物などお気軽にご利用いただければ幸いです。

【都市計画課】



新設予定の「ほほえみタウン坂前」バス停



循環バスを利用しましょう

ごみ捨ては正しく

ごみステーションで時々町が回収しないごみが出されているのを見かける。回収されないのでも放置状態になる。ごみを出すときに迷う時は坂町配布の「ごみ分別50音表」を見て判断しよう。

「ごみ分別50音表」とあわせて毎年3月に配布している（ごみと資源の出し方）についても確認いただき、決められた日に、決められたごみを出すようご協力をお願いします。

【環境防災課】

住みやすい町へ

より住みやすい町になるよう、建設的な議論と実現をお願いします。

坂町議会において協議を重ね、各諸課題に取り組んでおります。

【坂町議会】

もっと道路整備を

各地区での道路の整備が進んでいますが、完成が待ち遠しいですね。まだまだ改善していただきたい場所があるので、ぜひ検討していただき、住み良い坂町にしたいだけだと思います。

現在、道路整備は各事業整備計画に基づき計画的に整備する道路の他、建築物の立替に伴う道路拡幅を推進しています。生活道路の改善については、各地区住民福祉協議会からの要望に基づき、現地調査の上、整備要否を判断しています。これからも、皆さんがご利用しやすい道路整備に努めてまいります。

【建設課】

議会傍聴体験

いつも楽しく議会だよりを読ませていただきありがとうございます。子どもさんが坂町議会を傍聴され、良き体験され素晴らしいことだと思います。

小学生が議会傍聴で、議事を身近に感じていただけたら幸いです。坂町議会では、令和6年度も、9月定例会に坂小学校6年生、12月定例会に横浜小学校6年生、令和7年3月定例会に小屋浦小学校6年生に傍聴していただく予定にしております。引き続きよろしく願います。

【坂町議会】



伝統文化をつなぐ
ひき船小船



横浜小学校ふれあい大会

第108回 議会クイズ



《クイズ》

空欄に適切なことばを入れてください。

- ①「金融○○」とは
- ②○○センターの早急な大規模改修を
- ③「みんなで○○○○」
- 「事業に参加で健康づくりを
- ④生涯○○○○社会の推進で定住促進
- ⑤○○○○塀の耐震化改修工事費用に補助金を

《ヒント》

一般質問の中にあります。よく読んでください。

《注意》

旧料金のはがきで出される方、現在は63円です。料金不足にご注意ください。

《応募方法》

はがきに「**たえ・住所・氏名(ふりがな)・年齢**」を記入してください。

議会への要望・意見なども書いてください。

『まちの声』で、できるだけ紹介させていただきます。

正解者多数の場合は抽選で10人の方に図書カードをお送りいたします。

※ホームページ・携帯電話(携帯サイト)からも応募できます。

《あて先》

〒731・4393

坂町役場内議会事務局宛

《しめきり》

7月末日 消印有効



QRコード読み取り機能のついた携帯電話で議会クイズの申し込みができます。

《第107回 正解》

- ①公衆無線
- ②避難所
- ③子育て支援
- ④遮断する
- ⑤定住

第107回クイズ当選者

ご応募ありがとうございました。

正解者多数により抽選の結果、次の方々が当選されました。

坪本 美紀
岩谷 葉奈
大下 京子
北島 洋子
木場 希男
鉄田 雅子
咲田 重子
来間 健二
中村 照子
中野 克典
【順不同・敬称略】

《個人情報取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報、賞品発送および『まちの声』の目的以外には利用いたしません。

あとがき



梅雨が明けると、そこにはもう暑い夏がやってきています。

また、マスクを外しての生活もできるようになり、人も街も活気を取り戻しつつあります。

このような中、この5月、坂町議会は「身近な議会の集い」を開催しました。

こうした行事を通じて、より一層、議会や議員のことを知っていただければ幸いです。

「議会だより」も委員一丸となって取組み、創意工夫しながら、皆様に元気をお届けできることを強く願っています。

今後とも、引き続き、ご愛読いただきますようお願い申し上げます。

【池脇雅彦】

「議会だより さか」は 坂町議会 検索 でもご覧になれます



発行／〒731-4393 広島県坂町議会 (TEL: 082-820-1514) (FAX: 082-820-1530)
編集／議会広報調査特別委員会 E-mail / gikai@town.saka.lg.jp 印刷／株式会社ヤマワキ